

## 10-1 九州地方とその周辺の地震活動（2018年5月～10月）

### Seismic Activity in and around the Kyushu District (May – October 2018)

気象庁 福岡管区気象台  
Fukuoka Regional Headquarters, JMA

今期間、九州地方とその周辺でM4.0以上の地震は60回、M5.0以上の地震は9回発生した。このうち最大のものは、2018年9月15日に沖縄本島近海で発生したM6.2の地震である。

2018年5月～10月のM4.0以上の地震の震央分布を第1図(a)及び(b)に示す。

主な地震活動は以下のとおりである。

(1) 「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（今期間の最大M4.4，最大震度4，第2図(a),(b)）

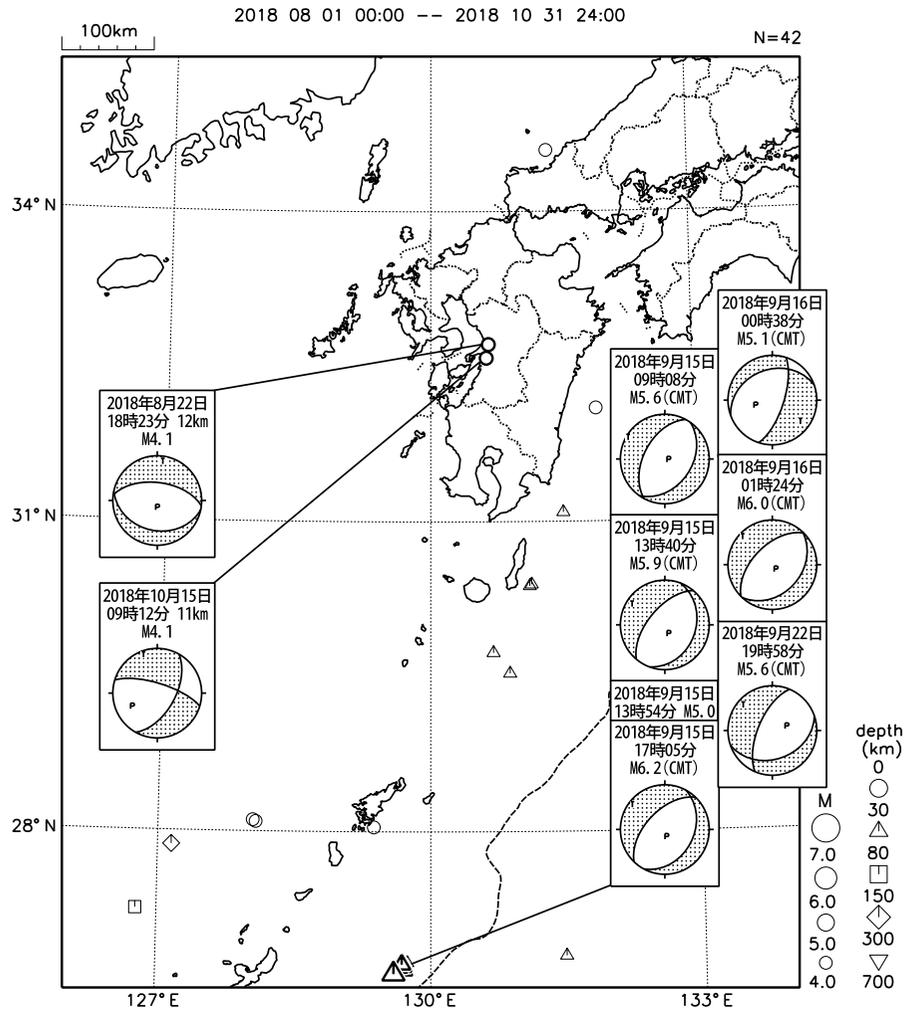
2018年5月6日21時13分に熊本県熊本地方の深さ11kmでM3.9の地震（最大震度4），2018年7月25日07時31分に深さ5kmでM4.4の地震（最大震度4），2018年8月22日18時23分に深さ12kmでM4.1の地震（最大震度4）が発生した。いずれの地震も「平成28年（2016年）熊本地震」の活動域内で発生した地殻内の地震で、5月6日と7月25日の地震の発震機構は南北方向に張力軸を持つ型，8月22日の地震の発震機構は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。

熊本県熊本地方（第2図(b)領域 a3）及び阿蘇地方（第2図(b)領域 a2）における「平成28年（2016年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続している。大分県中部（第2図(b)領域 a1）の活動は低下した。2018年5月1日から10月31日までに震度1以上を観測した地震は66回（最大震度4：3回，最大震度3：2回，最大震度2：22回，最大震度1：39回）発生した。

(2) 大隅半島東方沖の地震（M5.6，最大震度4，第3図）

2018年6月12日04時54分に大隅半島東方沖の深さ28kmでM5.6の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

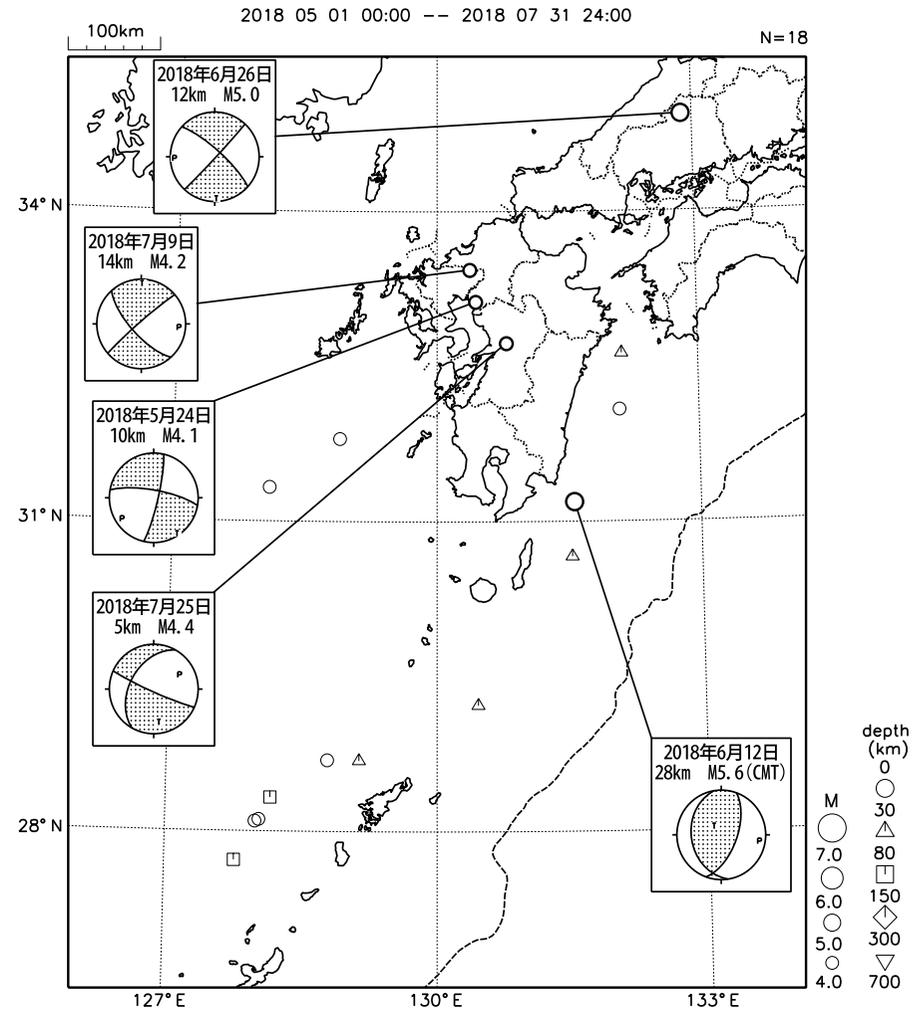
九州地方とその周辺の地震活動(2018年8月~10月、 $M \geq 4.0$ )



図中の吹き出しは、陸域M4.0以上・海域M5.0以上

第1図(a) 九州地方とその周辺の地震活動 (2018年5月~7月,  $M \geq 4.0$ , 深さ  $\leq 700$ km)  
 Fig. 1(a) Seismic activity in and around the Kyushu district (May – July 2018,  $M \geq 4.0$ , depth  $\leq 700$  km).

九州地方とその周辺の地震活動(2018年5月~7月、 $M \geq 4.0$ )



図中の吹き出しは、陸域M4.0以上・海域M5.0以上

第1図(b) つづき (2018年8月~10月,  $M \geq 4.0$ , 深さ  $\leq 700$ km)  
 Fig. 1(b) Continued (August – October 2018,  $M \geq 4.0$ , depth  $\leq 700$  km).

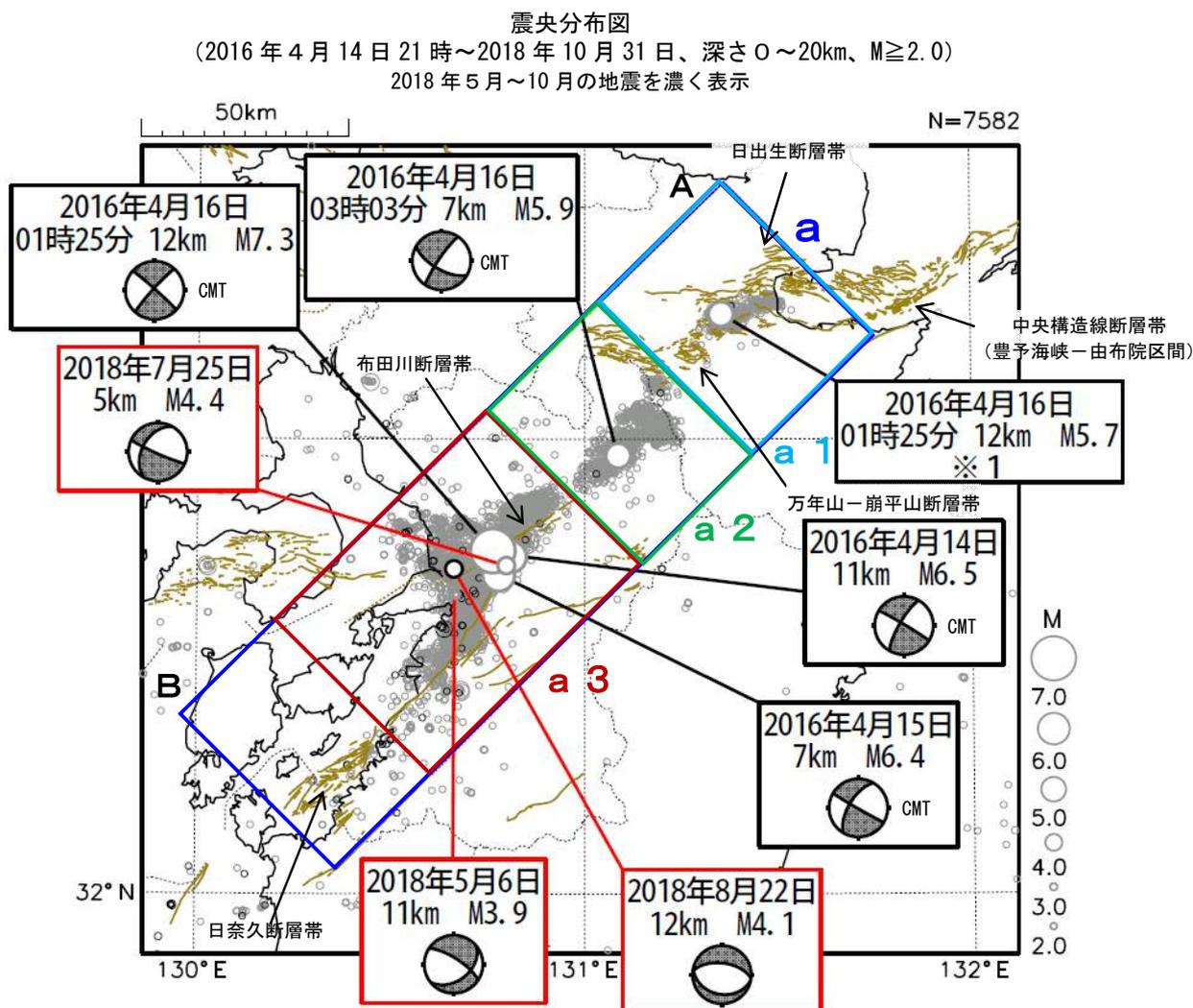
## 「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の活動域における地震の発生状況

2018 年 5 月 6 日 21 時 13 分に熊本県熊本地方の深さ 11km で M3.9 の地震（最大震度 4）、2018 年 7 月 25 日 07 時 31 分に深さ 5 km で M4.4 の地震（最大震度 4）、2018 年 8 月 22 日 18 時 23 分に深さ 12km で M4.1 の地震（最大震度 4）が発生した。いずれの地震も「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の活動域内で発生した地殻内の地震で、5 月 6 日と 7 月 25 日の地震の発震機構は南北方向に張力軸を持つ型、8 月 22 日の地震の発震機構は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。

熊本県熊本地方（領域 a 3）及び阿蘇地方（領域 a 2）における「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続している。大分県中部（領域 a 1）の活動は低下した。

2018 年 5 月 1 日から 10 月 31 日までに震度 1 以上を観測した地震は 66 回（最大震度 4：3 回、最大震度 3：2 回、最大震度 2：22 回、最大震度 1：39 回）発生した。

今回の一連の地震活動により、死者 272 人、負傷者 2,808 人、住家全壊 8,668 棟などの被害が生じた（2018 年 10 月 15 日現在、総務省消防庁による）。

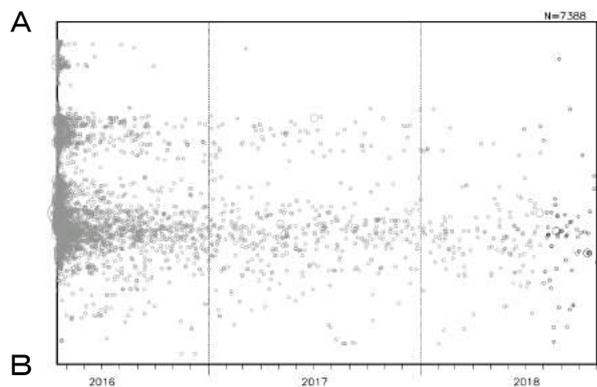


M6.0 以上の地震と各領域で最大規模の地震、2018 年 5 月～10 月に震度 4 を観測した地震に吹き出しをつけている。

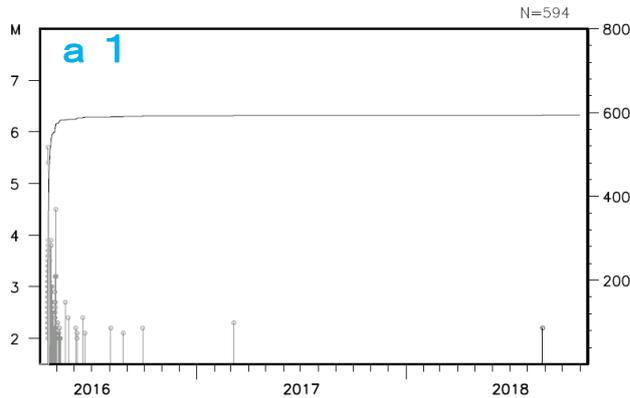
※ 1 M7.3 の地震の発生直後に発生したものであり、M の値は参考値。

第2図(a) 「平成28年（2016年）熊本地震」の活動域における地震の発生状況（2018年5月～10月）  
Fig. 2(a) Seismic activity of The 2016 Kumamoto Earthquake (May – October 2018).

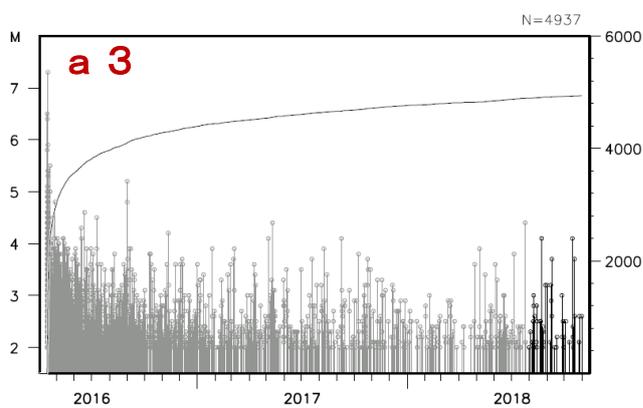
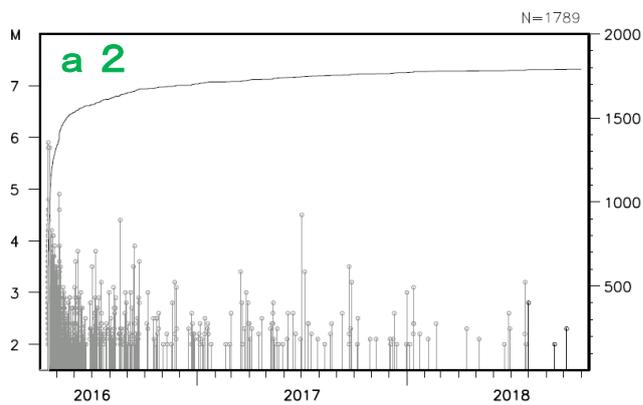
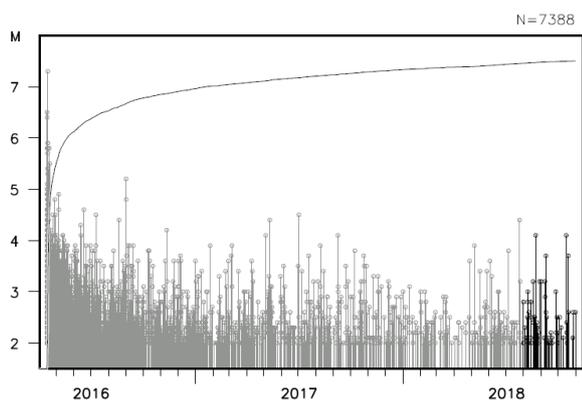
領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)  
(2016 年 4 月 14 日 21 時~2018 年 10 月 31 日)



領域 a 1、a 2、a 3 内の M-T 図及び回数積算図  
(2016 年 4 月 14 日 21 時~2018 年 10 月 31 日)

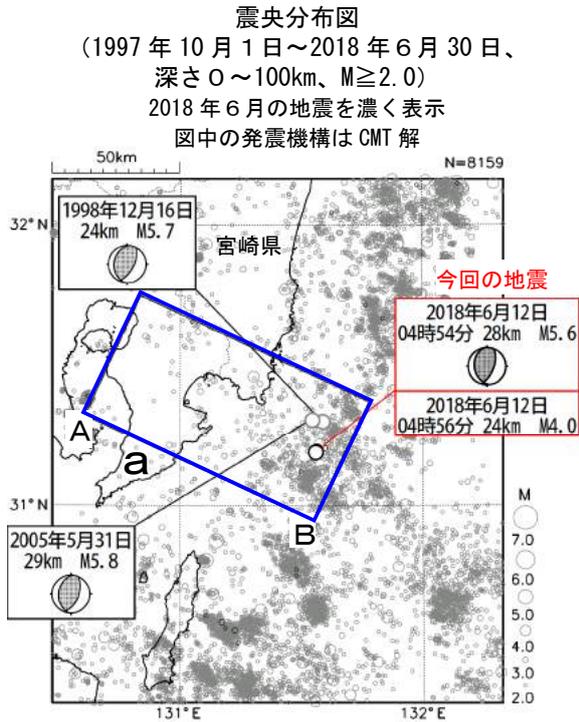


領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

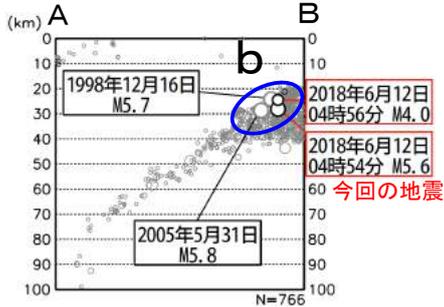


第2図(b) つづき  
Fig. 2(b) Continued.

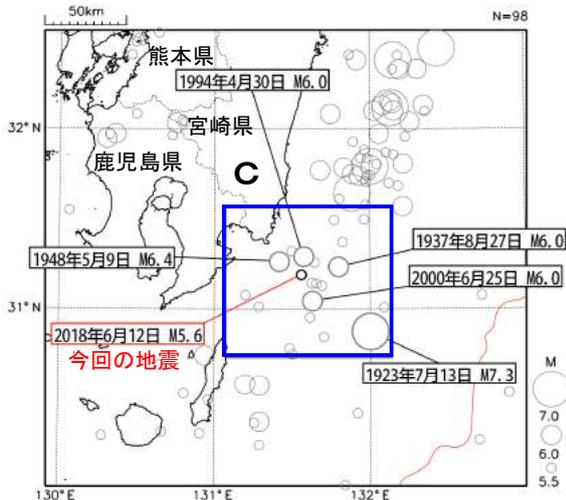
## 6月12日 大隅半島東方沖の地震



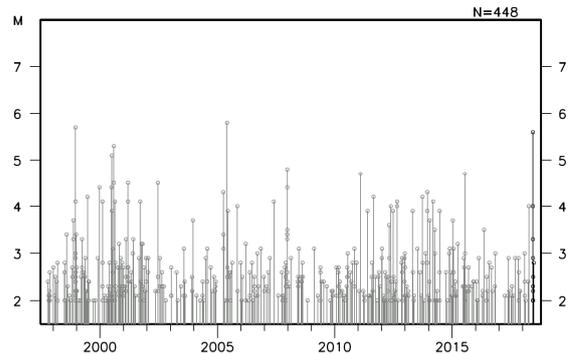
領域a内の断面図（A-B投影）



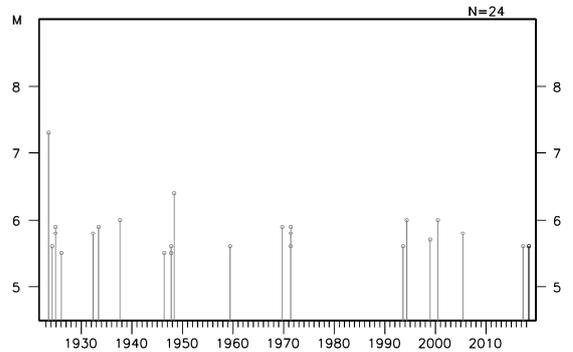
震央分布図  
(1923年1月1日～2018年6月30日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$ )  
2018年6月の地震を濃く表示



領域b内のM-T図



領域c内のM-T図



第3図 2018年6月12日 大隅半島東方沖の地震

Fig. 3 The earthquake east off the Osumi Peninsula on June 12, 2018.